



発行所  
太平山頂上鎮座  
太平山三吉神社総本宮  
宮司 田村 泰教  
秋田市広面字赤沼3の2  
電話 (018) 834-3443  
F A X (018) 834-3444  
<http://www.miyoshi.or.jp>



太平山頂上物資空輸 (7月15日)

「ワクチン接種と日時が重なり参列できない。」夏越しの大祓式を前に、形代をお届け頂いた方の世相を映す一言。感染者が少ない地方にあっても、コロナ禍は未だに各方面に大きな影響を及ぼしている。▽まして緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が延長された地域にあっては、終わりの見えないスパイラルの中で、良くも悪くも、慣れや自粛疲れが出てきてしまう仕方あるまい。▽そんな状況の中で、いよいよ五輪・パラリンピックが開幕。残念ながら、そのほとんどが無観客での開催となる。▽賛否さまざまな意見がありと思うが、この苦境の中で鍛錬を続け、各国の代表に選ばれたアスリート達に罪はないだろう。▽芸術やスポーツには人々の心を浄化し、喜びや悔しさ・悲しみなどを共有できる力がある。世界がコロナ禍に苦しむ今、純粹に競技に打ち込み、己の限界へと挑む選手たちの直向きな姿は、きつと大きな感動とともに、私たちにこの難局を乗り越える勇氣や希望を与えてくれるに違いない。▽日本人選手はもとより、世界から集う選手たちの競演に、テレビ画面を通して心からのエールを送りたい。

宮司 田村 泰教

## 転任の「ごあいさつ」

権禰宜 本庄 泰 孝



この度ご縁 ようです。熱烈な信仰者が多い様  
を頂きまし 子を見た私の曾祖父が祈りの場  
て、埼玉県大 祭りの場を整えるため、昭和十七  
宮鎮座、氷川 年に社殿を建立し、総本宮の御分

交流が行われるなど、秋田県と深い関係を築いてきました。このように深いご縁のある森三吉神社でございませう。お近くにお越しの際には、山海に囲まれ風光明媚で、食材豊かな森町へお立ち寄りいただき、是非ともご参拝いただければと思います。

私自身も将来は地元森町の三吉信仰を守るべく、継承する予定です。長い歴史を紡ぎ、東北・北海道に深く根付く三吉信仰の総本宮にお仕えし、勉強をさせていただくこの機会に深く感謝すると同時に、身が引き締まる思いです。

秋田県には太平洋山に登拝するために何度か訪れておりますが、下山しても観光や神社巡りなどをすること無く、すぐに帰ることが多かったため、秋田のことをほぼ何も知らない状態で参りました。加えて、他の神社での神職経験があるとはいえ、神社が変われば社務も全く別物でございませうので、転任して三か月ほど経ちますが、地域のこと、神社の行事のこと、崇敬者様のことなど、まだまだ不勉強な事ばかりです。

地域のことや社務のことで至らぬばかりに、皆様のご迷惑にならないよう、微力ながら精いっぱい尽くして参る所存でございますので、皆様ご指導頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

神社より転任し、四月一日付を以て太平洋三吉神社権禰宜を拝命致しました。昭和五十八年生まれの一歳三十七歳、埼玉県出身の妻と一歳の娘と共に秋田県に移住してまいりました。

森三吉神社と総本宮との関係は深く、現在の社殿は昭和五十二年に総本宮の旧社殿を解体した際の木材を森三吉神社に拝領したのを機に、昭和五十六年に改新築した神明造の社殿です。竣工時には総本宮より神職を派遣していただいた

き、御神前に祭詞を奏上いただいたております。

また、森三吉神社の現宮司である父が若き頃、総本宮の神職として奉仕をしていたことも関係してか、この他にも昭和五十年代には総本宮と森町双方の青年会同士も

北海道の道南地方、函館市近くの森町に鎮座する森三吉神社の社家に生まれました。東北各地からの移住者が多かったためか、森町には古くから太平洋三吉神社を信仰される方が多く、主に秋田県人の方が崇敬講を結成し、町内神社の境内地に三吉神社の碑を建てて遠方より遥かに参拝をしていた

も全く別物でございませうので、転



# みよしスケッチ



奥宮視察  
（五月十三日）



春季例大祭  
（五月七日・八日）



夏越の大祓式  
（六月三十日）



奥宮荷上げ  
（七月十五日）



協力会境内整備作業  
（四月十四日）



一、高額ご芳名

北上石灰株式会社

代表取締役

多田 祥茂 殿

一、榊一年分

秋田市 桜田生花店 殿

神事で使用する榊を一年分  
ご奉納戴きました。

奉納者ご芳名

# 今年の太平山奥宮奉仕について

昨年、コロナ禍によりお休みした太平山頂上奥宮並びに参籠所につきまして、利用者や従事者の安心安全を第一に、左記の日程により開所することといたしました。

社会情勢を踏まえ、神社主催行事は、(人数を絞り)県内在住の方に参加を限らせて頂きますが、検温やマスク着用などを徹底した上で、県外の方のご祈祷・宿泊等も受付いたします。

是非お誘いあわせの上、ご登拝下さいませ。

## 【本年の日程】

○奥宮奉仕期間 七月十二日～九月十七日

奥宮で祈祷をご希望の方は事前にご連絡願います

※参籠所(山小屋)の一般利用は九月十五日までとなります

○開山祭 七月十七日(土) 午前十時

里宮での神事後、神人奉仕により御神体を、太平山頂上奥宮へお遷し申し上げます。(神人奉仕は県内在住者限定)

○山ガール登山会

七月二十四日(土)～二十五日(日)

二十代～四十代の県内在住女性(限定十名)

※案内者同行、初心者歓迎

○太平山登ろう会

八月二十一日(土)～二十二日(日)

奥宮を参拝し、頂上に一泊いたします(限定十名)

※案内者同行、初心者歓迎(県内在住者対象)

○閉山祭 九月十七日(金) 午前十一時

御神体を奥宮より里宮に還御申し上げ、祭典を行います。(神人奉仕は県内在住者限定)

## 令和3年 下半期主な神事予定 (山関係は上記参照)

10月1日(金)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事(人形は9月20日よりお預かりします)
10月16日(土)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	神様の御加護と自然の恵みに感謝する例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(日)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
11月23日(火)	午前9時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭事
12月13日(月)	午前10時	煤払い式	新年を清々しく迎えるために、境内建物のすずを払う恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札・お守りをお祓いする神事
12月31日(金)	午後2時	師走の大祓式	1年の罪・穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。  
 ※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



煤払い式



師走の大祓式